

2026 年 8 月 4 日

プレスリリース No.010-26

「ホスピタルアートプロジェクトしずおか」が 4 者連携で 浜松医科大学医学部附属病院で病院利用者・職員等を対象に 「凸版印刷でオリジナルの短冊づくり～旧暦の七夕にねがいを～」を開催

静岡文化芸術大学の地域連携プロジェクト「ホスピタルアートプロジェクトしずおか(以下、HAPS)」は、浜松医科大学医学部、同附属病院および浜松市鴨江アートセンター、地元のクリエイターと連携し、2026 年 8 月 7 日(金)、同病院にてワークショップ「凸版印刷でオリジナルの短冊づくり ～旧暦の七夕にねがいを～」を開催します。患者さんやご家族、病院職員、医学生などが参加し、オリジナルの短冊づくりを通して、病院内に皆がワクワクするような時間と多様な人々の交流をうむことを試みます。

■学生による「ホスピタルアート」の実践

「HAPS」は、2014 年から病院での文化・芸術活動を意味する「ホスピタルアート」活動を開始。これまで、静岡県立こども病院や磐田市立総合病院などで活動してきました。患者さんが毎日を過ごす「日常」としての病院の姿を考えながら、患者さんやご家族、病院職員さんが一緒に参加できるものづくりワークショップや院内展覧会などの活動を行っています。活動は県内外の複数の企業からの寄付に支えられています。

■旧暦の七夕に合わせた特別なワークショップ

本ワークショップは、旧暦の七夕に合わせて実施します。参加者は夏をモチーフにした図柄を用いて、凸版印刷によるオリジナル短冊を制作します。インクのかすれや紙に残る凹凸など、手作業ならではの風合いを楽しみながら願いごとを書き、病院内に設置された笹に飾ります。本企画では、地域で活版印刷の可能性を探究する「KNOT LETTERPRESS PRINTING」主宰の大杉晃弘氏を講師に迎え、一つとして同じものがない参加者の創造性にふれ、手作りの楽しさを体験できる機会を創出します。

■開催概要「凸版印刷でオリジナルの短冊づくり ～旧暦の七夕にねがいを～」

【日時】2026 年 8 月 7 日(金) 10:30～13:30

※それぞれの都合でいつでも参加可能

所要時間も 15 分程度から 1 時間など、体調や状況に合わせて自由設定可能

【会場】浜松医科大学医学部附属病院 外来スペース

(静岡県浜松市中央区半田山 1-20-1)

<本リリースに関する問い合わせ>

静岡文化芸術大学文化政策学部芸術文化学科 高島研究室

Tel. 090-2113-2938 / Email. c-taka@suac.ac.jp

公式 Web サイト



【参加者】同病院の外来・入院患者、その付き添いの方、

病院職員、浜松医科大学学生 延べ 30～50 名程度

【主催】ホスピタルアートプロジェクトしずおか、浜松医科大学医学部附属病院、浜松市鴨江アートセンター(指定管理者:浜松創造都市協議会・東海ビル管理グループ)

<昨年度の様子>



今回は昨年度好評だった作ったクリスマスカード作りの第二弾

←昨年度、参加者が作ったクリスマスカードを飾ったツリー



<本年度のデザインとチラシ>



凸版印刷でオリジナルの短冊づくり
～旧暦の七夕にわがいを～

短冊には、花火やカブトムシなど、夏らしい図柄の版を自分の好きな位置に印刷できます。インクの付き方の違いや、印刷部分の凹みなど、その仕上がりを楽しみつつ、できあがった短冊に願いごとを書いて、笹に飾りましょう。

【日時】2026年8月7日(金)10:30～13:30頃
 【場所】外来1階エレベーター付近
 【所要時間】簡単なものなら15分程度

- ・時間は体調やご都合に合わせて調整できます
- ・患者さん、ご家族、職員さん、どなたでも参加可能です
- ・材料の数に限りがあり、予定より早く終わる場合もあります

【主催】ホスピタルアートプロジェクトしずおか、浜松医科大学附属病院、全国WGS、患者サービスWG、N-CEC、浜松市鴨江アートセンター(指定管理者)、浜松創造都市協議会・東海ビル管理グループ
 フランチャイザー 大杉屋弘洋(凸版印刷工/コピーライター)

今回は夏祭りのような雰囲気を院内に作り、七夕の短冊を作成予定

←現在の短冊のデザイン案。参加者のオリジナリティで色々なデザインの短冊ができる

<本リリースに関する問い合わせ>

<本リリースに関する問い合わせ>

静岡文化芸術大学文化政策学部芸術文化学科 高島研究室

Tel. 090-2113-2938/Email. c-taka@suac.ac.jp

公式 Web サイト

